

村内各地で田植え



村内各地の田植えが五月十日頃からピークを迎えています。農家の皆さんは、おだやかな天気のもと、手際よく田植えを行いました。

今年の作付け面積は、約九百四十五^{ヘクタール}で、そのうち八十八%がコシヒカリの見込みです。

五月十四日、関川小学校の学校田で、昔ながらの手植えによる田植えが行われました。これは、総合学習の一環で五年生児童五十二人が挑戦したもので、関川小学校では初。子どもたちは、地域の田んぼの先生から指導を受けながら、ワクの目に沿って丁寧に手植えしました。

初挑戦の横山瑞樹さん(辰田新)は「手で植えたのは初めてで、足がぬるぬるして気持ちよかったです。秋の刈り取りがとてもしみず」と笑顔で話していました。

関川小学校の学校田の面積は約九^{ヘクタール}。今後は、五年生が中心となって草刈りや水の管理などを行う予定です。秋の刈り取り後は、収穫祭で食べる計画にしています。

生産性向上に期待 玉郷立地区ほ場整備



玉郷立地区は昭和四十一年に十^{ヘクタール}区画に開田した地区ですが、農道が狭く、また農業従事者の高齢化が進む中、田への進入路が急勾配であるなど最近では耕作放棄される土地が増えていました。

それを受け、平成二十年度、県営農地環境整備事業が採択。

ほ場整備事業がスタートしました。

総事業費は三億四千万円。総面積は十六^{ヘクタール}。一^{ヘクタール}内、水田が十五^{ヘクタール}、四^{ヘクタール}、保全区域が〇^{ヘクタール}・七^{ヘクタール}と大規模な事業となりました。

この事業によって、従来の十^{ヘクタール}区画から約三十^{ヘクタール}区画に整備。フームポンド(貯水池)を設置し、自然庄によるパイプかんがいと農道・排水路の整備も行いました。

今後、水管理の合理化、農地流動化の促進、生産性の向上が期待できます。

田の工事は今月中には完了予定ですが、すでに工事が終了した田については所有者へ引き渡しが行われています。引き渡しを受けた農家の皆さんは、さっそく田植えの準備を行っていました。

自動給水栓で

水管理もらくらく

給水栓はバルブをひねると水が出る仕組みになっています。

水道と同じ原理で用水を供給できます。

給水栓とセンサーをチューブで繋ぎ、希望する水位をセット。田んぼの水が上限の水位に到達すると給水が止まり、下限になると再び始まるというように、自動で水管理が出来る仕組みになっています。

今までは、農家の方が田んぼに足を運び、汗水流して水管理の作業をしていましたが、これからは水管理も自動給水栓を利用することで労力を軽減できるようになりました。多くの耕作放棄地が点在していた地区が村内で初めて導入された設備で先進的な田んぼへと変身しました。



▶自動給水栓



渡辺 寿子さん
(下関保育園保育士・上関)

今年の4月から関川村の保育士に採用された渡辺寿子さんに話を聞きました。

保育士になろうと思ったきっかけは？

幼い頃から、明るく元気に毎日張り切って仕事に行く母の姿が大好きで、母のような先生になりたいと思ったからです。

保育士になって心がけていることはありますか？

いつも笑顔でいることです。日々、子どもたちやまわりの人たちの笑顔に支えられ、幸せをもらっていますので私も太陽のような明るさと笑顔で子どもたちに勇気を与えられるようになりたいと思っています。

今、夢中になっていることはありますか？

今は、新しい環境に慣れることで精一杯です。これからは、役場のバレーボール部に参加したいです。

村民の皆さんにひと言お願いします。

子どもたちの成長を見守ると共に、自分自身も一緒に成長していきたいと思えます。そして私を支えてくれるまわりの人たちへの感謝の気持ち忘れず頑張りたいです。よろしくお願いします。

のコース。ひのき林が広がっていて、この時期は、山菜なども数多く自生しているなど大変魅力的な遊歩道になっています。

作業に参加された方は「観光客の皆さんに分かりやすく親切な誘導ができればと設置しました。散策を楽しんでもらいたい」と話していました。

望郷の広場から見上げる丸山大橋はまた違った表情を見せてくれます。ぜひ、この機会に鷹の巣遊歩道を散策してみたいかがですか？



裸足でいくでえ〜

大阪いずみ市民生協組合員

田植えを体験

五月十五日、大阪いずみ市民生協組合員の皆さんが安角集落内で田植えを体験しました。今回の体験は、市民生協がJAにいがた岩船と岩船米コシヒカリの取り引きがあることから実現。当日は、家族連れなど約二十人が参加しました。

子どもたちは苗を片手に「裸足でいくでえ〜」と元気よく田んぼに足を踏み入れました。参加者は、慣れないせいか、泥にぬかるみ、あわや転倒しそうになる方もいましたが、泥まみれになりながらも笑顔で田植えを行っていました。初めて田植えを行ったという女の子は「田んぼの泥が意外と気持ち良かったです。苗を取り分けるのが難しかったけど秋の稲刈りが楽しみです」と田植えの感想を話していました。

田んぼを提供してくれた本間正良さん(安角)は、「皆さん楽しそうで本当に良かったです」と喜んでいました。秋には稲刈りも予定されていて、参加者の皆さんは秋の収穫を心待ちにしていました。

鷹の巣遊歩道に案内標識設置



五月十日、関川村商工会観光部、自然環境管理公社、村観光協会、鷹の巣遊歩道に五か所の案内標識を設置しました。

平成二十二年にも朴坂山の登山道に案内標識を設置していて、今回で二回目となります。

鷹の巣遊歩道は丸山公園から鷹の巣吊り橋までの全長約二キロ